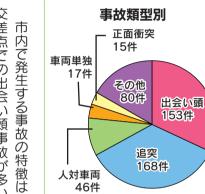
は1,671件、 は1,671件、 は1,671件、 は1,670うち、 市内でも、今にを超えています。 このうち、 6,598件、 今年8月3日昼、 高齢者の被害3件、死者63人 39人と件数全 死者は6割

死亡するという重大事故が発生 運転)が自転車(70歳代男性運 転)に追突し、 市道で普通貨物車 しています 自転車の男性が (70歳代男性





ことです。 交差点での出会い頭事故が多い

るポイントを次のとおりまとめ ましたので紹介. そこで、 高齢者を事故から守 します



①道路を横断するときは、 渡る。 横断歩道を

43.4%

市

県 🔲

50

34.8%

40

32.8%

25.3%

30

②信号機の青色灯が点滅を始めたら、 ③信号機が青色になっても、 ず確認してから渡る。 次の青信号を待つ余裕を持つ。 左右を必

各種事故比率の比較(県と市)

16.0%

15.9%

20

10

交差点事故

高齢者事故

自転車事故

⑥狭い道や危険な場所では、 ⑤雨の日や夜間の自転車利用は控える。 ④暗い時でも目立つように、反射材用 品や明るい色の服装を身に付ける。 自転車から降りて押して歩く 無理をせ



▲かかとに反射材を貼り付けていま す。夕方から夜間にかけて、「見 える」ことが安全につながります。

発活動を行う

▲交通ボランティアが七夕飾りと啓 発品を持って高齢者宅を訪問。

全国秋の交通安全週間 交通安全の推進にご協力を 予定です。

9月21日~ 運動の重点 30 日

射材用品等の着用の推進および自乗車中の交通事故防止(特に、反乗車をを関の歩行中・自転車 転車前照灯の点灯の徹底)

0

②後部座席を含めたすべての座席 ③飲酒運転の根絶

▲自転車シミュレーターの体験コー

安全運転に役立つルールや マナー、危険予測などが学べます。

や子どもたち

による高齢者

学生たち

学生の柔軟な発想力と行動力を生か

に関 署

県警:専用サーバ

県警では、

報をもとに資料を作

担当の警察署に手渡します

報はどう活用されるの?

高齢福祉介護課

265 - 7789

民協働推進課

65

タから削除

します

- 外部からはアクセスできない県警 サーバ内において保管管理を行な
- ・組織内規定に基づき、情報流出防 止等に配慮した運用管理を行ない ます。

降に提供する予定です。

警察本部生活

安全

企

画

記のいずれない人は、

かまで連絡ください

提

9 月

30

H

までに左

者が管理運用

ます 課 で 日④性別の4項目です。 歳以上の人の①住所②u

)氏名③

ため、 個

市で

は、

安心安全なまち

づく

0

となり、

高齢者等を見守る仕組みや

窓口に相談してください

毎日の暮らしの中で、

市民が一

体

ò

迷わず警察署や市消費生活相談

「おかしいな」「困ったな」と思っ

た

掛けあうことが大事です

『防御力』を高めること、

家族で声を

そして、

人ひとりが被害に遭わないための

地域のつながりを強くすることが

警に提供し、連携を図りながら取組個人情報保護条例の規定に基づき県ため、65歳以上の人の情報4項目を

月

を進めていきます。 警に提供し、

65歳以上で住民情

報を提 (水)

したく

以生

情報漏洩対策は万全です

います。

データ管理フロー図 県警本部内 データ出入力 専用端末 名簿作成 名簿 紙資料 担当受持区分のみの名簿を各署に送付

取り扱う職員も限

情報が流出

に提供 す

安心して生活で

立して生活できる社会本市でも情報を県警

提供したくない

人は

9月末までに連絡を

このたび、

くりを進めます。

供する情報は?

各市町に高齢者の情報を求めて

#

防止するための対策を強化

しており、

県警では、

こう

した被害を未然に

定しています。 とはありません。 遮断されており

問具警察本部生活安全企画課

2077

5 2 2

2 3

う状況であり、 故による死者了

深刻な事態となってい

人中3人が高齢者とい

害を受けたものであり、

また、交通事

たシステムで保存されます。

外とは するこ

提供デ

タは県警で独自に構築し

はどのように管理されるの?

〇万円のうち300万円が高齢者が被

件数10件のうち3件が、

被害総額94

す。市内でも、

昨年度の特殊詐欺認知

交通死亡事故等は増加傾向にありま

木之本警察署 長浜警察署

82 -

高齢者が被害に遭う犯罪や

様々な啓発活動を進めて

ちとともに、

高齢者情報を警察と共有

市は、県警や関係機関、

地域の·

人た

犯指導や巡回指導に利用します。

6 2

Ο

0

理解してい

ただけるよう防

会は、誰しもの願いです。究極的にることなく安心して暮らせる地域社質な事件や悲惨な事故に巻き込まれ高齢者に限らず、すべての人が悪

もが安心

て暮らせるまちに

故ゼロ」

のまち・長浜です。

警察署や市では、

交通安全教室や

目指すところは

「犯罪ゼロ」

「交通事 究極的に

講座を行っています。「自分は大丈消費者トラブル・防犯対策等の出前

夫!」と思わずに、

教室に参加したり、

注意に耳を傾け、 日頃から色々な しつかり開を直接訪問

被害者ゼロを目指

しての取組

官

訪問し、犯罪の手口や は名簿により高齢者の

日や対策を記者のお宅

りの なります。 なまちづく - 歩と

安全で安心

します。

(左から小泉署長、

▲締結式の様子

寸劇などを通 を対象とした

様々な啓

藤井市長、松本学長)

連携協定を締結しました。

この協定を受け、

市と長浜警察

短大の三者で、 して連携してい

交通安全の推進 くことを確認

教短期大学(田村町)との間で、

包括

教育

新たな取組が始まります

「地方創生」施策の一環で、

保育や地域の活性化を目的に滋賀文